

## 事業評価表（令和5年度（3年目）実績分）

事業名	経営発達支援計画	カテゴリ	支援力向上	主担当者	毛利・進藤・山口・重岡・伊藤・永瀬
事業期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日	評価委員会実施日	開始	R5. 7. 18	最終 R6. 2. 19

### （1）事業計画（PLAN）及び実施（DO）

事業概要	・飯塚市商工会全ての職員が、経営発達支援計画の推進のため、外部研修の他に独自の勉強会や実際の企業実地調査を通じて、支援に必要な知識、考え方、手法等を習得する。	活動・手段	・本年度から使用する事業計画作成ツールを活用した事業計画づくり勉強会を実施する。 ・専門家の指導の下でモデル企業に対するヒアリング、他実地調査の実施  ・dropboxを使って外部研修資料の共有化
------	---	-------	---

目的	小規模事業者の事業の持続化支援のために必要な知識、考え方、手法等を習得し飯塚市商工会職員全員の資質向上を図るとともに、組織としての支援力向上を目指す。
----	---

成果指標	指標の名称	単位・式	元年度	中間	最終
		月1回の経営指導員会議時における勉強会	回数	目標 12回	
			実績		12回
			達成率		100%
	事業評価委員による事業評価と見直し	回数	目標 2回		
			実績		2回
			達成率		100%
	LINE公式アカウント職員向けセミナーの開催	回数	目標 1回		
			実績		1回
			達成率		100%
			目標		
			実績		
			達成率		

### （2）事業費等の推移・内訳

財源内訳	予算額	決算額	摘要	特記事項
国庫補助金	66,000	66,000	事業評価委員会委員謝金（中小企業診断士）	事業評価委員会2回謝金 33,000円×2回
一般財源	0	0		
合計	66,000	66,000		

### （3）定性評価（A 100%以上 B 70～100%未満 C 70%未満）

事業分析 <<担当者（チーム）評価>>	
事業を取り巻く環境の変化	（消費者ニーズ、国・県・市の動向など） 新型コロナウイルスの影響で国が給付金、助成金、特別貸付等の様々な支援施策を制度設計しそれに伴い県、市が新たな施策を行った。
事業の進捗状況	判定 <b>A</b> A：計画通り進捗した B：概ね進捗した C：進捗しなかった （その理由、執行上発生した問題点など） ・経営革新計画、経営力向上計画等計画策定や各種補助金申請をテーマに知識補充を行った。そのほかに上記の申請や資金斡旋の手続きに関し月1回経営指導員会議で情報の共有を行った。 ・職員向けにLINE公式アカウントセミナーを1回実施した。
事業の成果	判定 <b>A</b> A：目的を達成した B：概ね達成した C：達成できなかった （その根拠、理由） 上記内部勉強会、評価委員会の助言により事業計画の策定、フォローアップ支援、創業支援を円滑に行うことが出来た。

### （4）評価（CHECK）

事業分析《一次（中間）評価》			
①妥当性	商工会が事業として行う必要があるか	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	職員の資質向上は事業者支援のため必須である
	特定の事業者に受益が偏ってないか	<input type="checkbox"/> 偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 偏っていない	職員の資質向上は幅広く事業者の受益に資する
	地域商業の経営安定化と地域経済の好循環の拡大を推進するという目的に対する手段として適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切ではない	
②有効性	目的とおり期待される成果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 得られた <input type="checkbox"/> 得られなかった	支援結果から一定の効果は見られた
	地域商業の経営安定化と地域経済の好循環の拡大を推進するという目的に対し貢献できたか	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献できた <input type="checkbox"/> 貢献できなかった	
	次年度以降もこの事業の継続は必要あるか	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	職員の資質向上は事業者支援のため必須である
③効率性	利便性の向上や省力化を図る余地はないか	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	外部研修についてはリモート出席を活用するなど利便性向上を図る余地はある
	事業のコストは適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切ではない	
	類似事業や関連事業等、他に代わる事業はないか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	

**事業分析 《二次（最終）評価》**

事業結果に対する総評	<p style="color: blue;">（進捗状況・事業成果等に対する総評）</p> 経営発達支援計画の推進、事業者支援には商工会職員の資質向上は必須であるため今後も本事業は必要である
方向性の判断	<p style="color: blue;">（理由：事業の優先・重点化の必要性など）</p> 本事業の優先度は高く今後も継続して実施するべきである

**（5）改善・改革（ACTION）**

事業の方向性	判定	A	A：継続 B：変更継続 C：休止 D：廃止 E：終了
事業の課題			<p style="color: blue;">（事業実施上の課題等）</p> 商工会の業務が多岐に渡っておりある程度の知識の補充も求められるため本事業については出来るだけ時間を確保することが望まれる。
今後の取組／見直し案（活動・手法等）			<p style="color: blue;">（上記の「事業の課題」に対する改善策又は事業の今後の方策等）</p> ITを活用した業務効率化による時間の確保
その他			